

今年の夏、中学校教科書が採択されます

育鵬社の歴史・公民教科書を採択させない世論をつくろう

子どもたちと学びをともにする学校現場の意見の尊重を



1月17日、学習会と総会、茶話会を行いました。学習会は、^{いくほう}育鵬社の教科書を使って「日露戦争」の模擬授業。授業を受けた方の感想文からいくつか紹介します。

自衛のための正義の戦争。勇ましい日本人。独自の歴史観をすり込む怖い教科書の採択を許さない世論をつくりましょう。



写真・図を巧みに使った授業

先生の授業がうまくて、日本人ですばらしいと高揚した気分させられました。
この教科書で勉強していく恐さを身をもって感じました。

子どもたち(何の知識もない)がこの教科書通りに学んでいたらこわいです。一番最初に先生が、日露戦争「激突」をどんな激突ワクワクしますね～！からこわくてこわくて… 何としても教科書採択に興味を持つ母親を増やさなくては、と思いました。

何も知らない初めて歴史を学ぶ子どもたちが、この教科書で素直に理解したらどうなるのだろうととても不安になりました。今の政権がやろうとしていることや、今の空気について、今日やった時代と同じようにしているのだと感じました。

私は国民学校前の小学校で、国史という教科で授業を受けていました。従って今日の先生の授業203高地の争奪戦、日本海海戦の東郷平八郎の話も、違和感なくスーッと入ってしまいました(眠気もあって)。ハッと気付いたら恐ろしいことです。

何も知らない子どもたちが疑問を持たずに授業を受ける様子がよく分かりました。
この様な子どもたちを増やしてはならないと思いました。

子どもが中3です。帰って、資料を見ながら話してみたいと思います。授業の中で、「大切なところ」を復唱するのが、恐ろしく感じました。初めて学んだら素直に吸収してしまう気がしました。絶対に育鵬社の教科書にして欲しくないです。



←授業の最後にみんなで討論

みんなの教育・ふじさわネット 学習会

俵 義文 講演会

子どもと教科書全国ネット21事務局長

「現政権の教育介入と教科書問題」

3月7日(土)

13:30～16:30

藤沢市民会館
第二展示ホール



教科書採択までの流れ

予断は許さない緊迫した状況

今年の夏、中学校で来年4月から4年間使われる教科書の採択が行われます。中学校教科書採択の流れは、昨年行われた小学校教科書採択の流れと基本は同じと考えられます。下の表は昨年の小学校教科書採択の流れを示したものです。

教科書採択は、5人の教育委員の合議で行われます。昨年の小学校採択では、35校の小学校から提出された「教科用図書調査書」にふれた教育委員はいませんでした。また、これまでの発言等から、育鵬社の教科書を推薦するのではないかと懸念される委員がいます。緊迫した状況です。

会議の傍聴等を通して、教科書採択で子どもたちと学びをともにする学校現場の声が尊重されるようはたらきかけていきましょう。

※()内は、昨年行われた小学校教科書採択での期日

A	5月教育委員会定例会	教科書採択方針決定(5月15日) 教科用図書採択審議委員会への「諮問文」決定
B	教科用図書採択審議委員会	第1回(6月2日)、第2回(7月2日)、第3回(7月18日) 「答申書」を教育委員会委員長に提出(7月24日)
C	6月教科書展示会	各学校と藤沢郵便局(市役所建て替えのため)
D	6月各学校校長「教科用図書調査書」作成・提出	
E	7月公開教育委員会で採択	多くの傍聴者を(7月31日)

藤沢のマンモス小学校

1000人を超える小学校が5校も

「少子高齢化」が進行する中で、児童数の減少、空き教室の増加、学校の統廃合が課題とされています。しかし、藤沢市は事情が大きく異なります。学校教育法施行規則第41条において、小学校の学級数は、「12学級以上18学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のあるときはこの限りでない。」と定められています。藤沢市にある35の市立小学校では、普通学級の合計が19学級以上の小学校が、20校あります。特別支援学級を加えると、26校になります。12～18学級が適正規模校とされますが、藤沢市では適正規模を超えた大きな学校が多くなっています。

31学級以上は過大規模校とされますが、表1のように、普通学級だけで31学級を超える小学校が4校、特別支援学級を加えると5校が過大規模校になります。いわゆるマンモス校です。

藤沢の小学校では、教室不足に対応するため、プレハブの仮設校舎が使われています。2013年度末で、小学校10校に16棟が設置され使用されています。下の写真は六会小学校の仮設校舎です。

<表1> 児童数が1000人を超える小学校

2014年5月1日集計 藤沢市HPより作成

No	学校名	児童数	学級数
1	六会小学校	1243人	35
2	辻堂小学校	1135人	33
3	鶴洋小学校	1106人	32
4	長後小学校	1019人	31
5	明治小学校	1005人 ※	32 ※

※特別支援学級の19人、3学級を含む



六会小学校 プレハブの仮設校舎

澁谷委員

仮設校舎のプレハブは一昔前のプレハブと違って非常に快適に過ごせるということですし、現在既にプレハブ対応の小学校が幾つもあります。けれども、本当はプレハブというのは臨時措置ですから、プレハブを建てて長期間にわたり対応していくことに、このままでいいのだろうかと思います。(2011年2月藤沢市教育委員会定例会 会議録より)